

宗教倫理学会公開講演会

# 現代日本社会における 宗教とジェンダー —公共圏と親密圏のあいだ—

講師

## 猪瀬優理氏

1974年、北海道生まれ。龍谷大学社会学部教授。専門は宗教社会学。特にジェンダー論や次世代育成。主な論考として、『信仰はどのように継承されるか—創価学会にみる次世代育成』（北海道大学出版会、2011年）、「現代日本社会の「ジェンダー秩序」における宗教の位置」（『生活経済政策』323号、2023年）他。

2025年 3月 8日 土

時間 13:30-16:00 (開場13:00)

会場 龍谷大学大宮キャンパス 清和館3階ホール  
京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1 (京都駅下車徒歩10分)

コメンテーター 竹下ルッジェリ・アンナ氏  
(京都外国語大学教授)

司会 那須英勝氏 (研究プロジェクト委員長・龍谷大学教授)

入場無料・事前申込不要

# 宗教倫理学会公開講演会

## 現代日本社会における 宗教とジェンダー

—公共圏と親密圏のあいだ—

### 講演要旨

宗教はこれからの社会において、どのような「はたらき」を果たしうるだろうか。

これまでの社会の中で、多くの宗教が人びとを性別をもとに不平等に配置する「ジェンダー秩序」の形成と維持に加担してきたことは否定できない。他方で、宗教が既存のジェンダー秩序を含めた権力関係を伴う秩序を相対化する見方を提供し、虐げられる立場に置かれた人びとに対して希望を提供してきた側面もある。

そこで、今回は家族のあり方と宗教とのかかわりの視点から、宗教の担い手「はたらき」について問うてみたい。というのも、近代国家のジェンダー秩序は性別役割分業を前提とする家族を基礎単位として形成されているからである。具体的には、親が所属する教団に選択の余地なく巻き込まれる子どもたち（2世）や、子育てなど「ケア」の担い手が置かれている状況における宗教の「はたらき」を確認したい。

### 龍谷大学大宮学舎へのアクセス



京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1  
TEL: 075-343-3311 (代表)

- 「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分（市バス約3分）
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分（市バス約5分）
- アクセスマップ：[https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_omiya.html](https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html)
- キャンパスマップ：[https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/omiya.html](https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/omiya.html)